

ワーク・ライフ・バランス実現に向けた働き方の見直し

ワーク・ライフ・バランス実践トップセミナー 第1回より 平成26年9月29日



講師:パク・スックチヤさん

アバショナタ、Inc代表
ダイバーシティ&ワークライフバランスコンサルタント

■プロフィール

日本生まれ、韓国籍。米国ペンシルバニア大学経済学部BA(学士)、シカゴ大学MBA(経営学修士)取得。米国と日本で米国系企業に勤務後、韓国延世大学へ語学留学。日本に戻り米国系運輸企業に入社。同社にて日本・香港・シンガポール・中国など、太平洋地区での人事、スペシャリスト及び管理職研修企画・実施を手がける。2000年に退社し、日本で最初にワークライフバランスを推進するコンサルタントとして独立。企業での意識改革、働き方改革及び教育研修に携わる。

講演では、グローバルにご活躍されているご自身のご経験や先進的な企業の取組を紹介しながら、なぜ働き方を見直すのか、個人として取り組むこと、上司の役割、企業として取り組むことなどを演習を交え、わかりやすく説明していただきました。

(ご講演より)

高度経済成長と言われた80年代までは、労働時間が長ければ長いほど生産性が向上していました。しかし、90年代に入りIT革命が産業構造の変化をもたらしました。消費者の嗜好と価値観の多様化が進みかつての大量生産、大量消費ではなく、成功のカギは「付加価値」の提供です。

いい仕事をしたいとの思いから長時間労働をしているが、仕事ばかりしているは、いいアイデアは生まれません。いい仕事をするためには、肉体的・知的・精神的に健康でなければならない。また、変化し続ける現状に対応するために、働きながら自己の付加価値を高める「能力開発」「健康維持」「家庭責任」を可能にするのがワーク・ライフ・バランスへの取組です。

多様な人財力を最大限に活かすしくみ

ワーク・ライフ・バランス実践トップセミナー 第2回より 平成27年2月19日

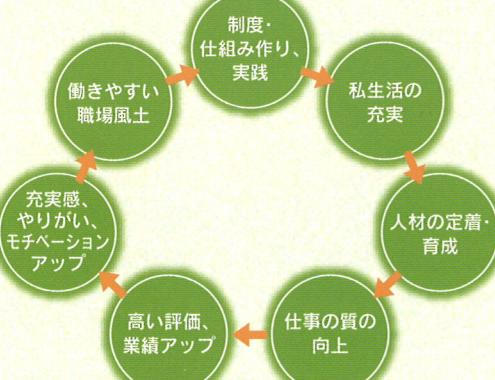


講師:古志野純子さん

株式会社長岡塗装店常務取締役

■プロフィール

1983年入社、1997年常務取締役就任。「技能伝承の力が『若者の定着』」をモットーに社員全員がいきいき働くことのできる職場環境づくりを進めた。その結果、8年間退職ゼロ。社員のうち15名が1級塗装技能士を取得。



社員が休むことは、会社にもプラスになると知り肯定的に考えています。大切なのは、仕組みを作るだけではなく、経営に活かすためどうマネジメントするかです。

制度は損得勘定で利用するのではなく、どのように周りの理解を得て休み、そのためにはどのように働くのかを考えてもらうようにしている。また、年次有給休暇の計画的取得をはじめとした自己管理能力や自ら考えることの重要性を常々説いている。

ワーク・ライフ・バランスへの取組は、社員との信頼関係を築きながら中長期的な視点を持つことが必要です。

休暇取得率の上昇に伴い、社員は業務改善や自己研鑽に努めメリハリのある働き方を認識し、お互いの精神、思いやりのある会社風土により、働きやすさと働きがいの両方を得ることができている。

また、社員の仕事への熱意や責任感の高まり、国家資格取得者の増加に伴い、対外的な信頼や高い評価を得ることにつながり、その結果、会社の業績アップや人材の確保にもつながっている。

WORK LIFE BALANCE



ワーク・ライフ・バランス

充実したライフといきいきとしたワークの相乗効果

